※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の実践を通して、基礎・基本的な運動の技能・体力を向上させよう。
・自他の運動を観察、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・知るといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。
・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲や健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と運動の実践や生涯スポーツにつながる概念や法則などの汎用的な知識を理解するとともに、基本的な技能や動きを身に付け、記録や技に挑戦したり、試合や発表をしたり、運動やスポーツの多様な関わり方を場面に応じて選択し実践したりする技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	健康・安全を確保し、自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする態度、勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとする態度、互いに助け合い教え合うなど自己の責任を果たそうとする態度である。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期・2学期	体つくり運動	体育理論 体ほぐしの運動	a: 体ほぐしの運動、スポーツの文化的特性を理解し、実践することができる。 b: 仲間との関わり合いの中で、互いの課題を指摘し合い、ねらいに応じて運動の取り組み方を工夫することができる。現代スポーツの発展について考え、問題を発見し、解決をめざすことができる。 c: 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができる。	実技テスト レポート	技術の活用及び応用 レポート	授業態度
	体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方	a: 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができる。 b: 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 c:運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	レポート	レポート 発表	授業態度
	球技	男子:アルティメット バレーボール ハンドボール 女子:ソフトボール ハンドボール	a:技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 b:自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し考えたことを他者に伝えることができる。 c:自主的に取り組むとともにフェアプレイを大切にしようとしている。	実技テスト レポート	技術の活用及び応用 レポート	授業態度

※令和４年度以降入学生用

	ダンス(女子)	フォークダンス 現代的なリズムのダンス	a: ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方などを理解するとともに、表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。 b: 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 c: 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとすることができる。	実技テスト レポート	技術の活用及び応用 レポート	授業態度
	水泳	平泳ぎ	a: 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 b: 自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し考えたことを他者に伝えることができる。 c:ルールやマナーを大切にし、事故防止に関する心得を遵守しようとしている。	実技テスト レポート	技術の活用及び応用 レポート	授業態度
3学期	陸上競技	長距離走	a: 体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮することができる。 b: 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができる。 c: 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすることができる。	実技テスト レポート ポートフォリオ	技術の活用及び応用 レポート	授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度